

家畜衛生情報

福岡県でニューカッスル病続発！

平成18年5月

5月になり、福岡県内の愛玩鶏および採卵鶏でニューカッスル病が続発しています。

(発生場所) 福岡県小郡市

福岡県朝倉市

(飼養状況) 愛玩鶏 120羽飼養

採卵鶏 224羽飼養

(発生の経過)

4月30日に2羽、5月1日に1羽が死亡、現在数羽が元気がないと家畜保健衛生所へ届出。

5月7日、2日前から飼養鶏に元気消失、1～2羽／日が死亡していると家畜保健衛生所へ届出。

(防疫対応)

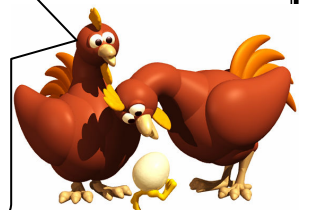
立ち入りを実施し、検査材料の採取、物品の移動自粛および鶏舎内外の消毒を指示。検査の結果ニューカッスル病と決定。

鶏は自衛殺処分・焼却、鶏舎消毒、物品の移動自粛を指導。

同じ地区の愛玩鶏飼養者へ立ち入り検査、併せて緊急ワクチン接種を指導。また半径3km以内の養鶏場の立入検査を実施。いずれも異常は認められなかった。

本病は適切なワクチン接種で未然に防止出来ます。定期的な抗体検査とワクチン接種に心がけましょう。

日常の健康観察を徹底し、鶏群に異常がみられたときは家畜保健衛生所まで連絡して下さい。



飛驒家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

近年福岡県でのニューカッスル病の発生状況

平成16年12月	肉用鶏	2,822羽	※
平成17年 1月	肉用鶏	399羽	※
平成17年 4月	肉用鶏	130羽	
平成17年 5月	愛玩鶏	8羽	

※:同一農場での継続発生

海外では引き続き高病原性鳥インフルエンザが発生しています(参考)

※発生国、地域からの入国の際の各空港での靴底消毒をお願いします。

